

25日にチャレンジデー 必勝誓う

大村で決起大会 岩手・奥州市と対戦

2年ぶりの勝利を目指し、氣勢を上げる実行委のメンバーら 大村市コミュニティセンター



大村市で25日に開かれる市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の参加率向上に向け、実行委（会長・園田裕史市長）は18日、市内で総決起大会を開き、対戦相手の岩手県奥州市への必勝を誓った。

チャレンジデーは毎年5月に世界各地で開催。人口規模が同等の自治体や地域同士で午前0時～午後9時の間、15分以上続けて運動した住民の参加率を競う。負けた方は相手自治体の旗を庁舎に1週間掲げる。

大村市の参加は9回目。昨年度の参加率は65・6%。今年は70%を目標に、2年ぶりの勝利を目指す。

決起大会で園田市長は「奥州市は競馬のまちだが、大村市は競艇のまち。まぐつて差して目標を達成できるように頑張ろう」とあいさつ。市職員や市民約200人が氣勢を上げた。実行委は市民の参加登録を受け付け中。問い合わせは市地域げんき課電0957・53・4111。（左海力也）

2016年5月19日 木曜日 長崎新聞



おむらんちゃんと一緒にチャレンジ

主催

山江村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 内山慶治)
山江村教育委員会
〒 868-0092 熊本県球磨郡山江村大字山田甲 1360 番地
TEL : 0966-23-3604 FAX : 0966-24-6681

結果

人口 : 3,638 人
参加者数 : 1,422 人
参加率 : 39.1%
取得メダル : 銅

熊本県山江村 ●
VS
長野県小海町 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① **ホテル観賞ウォーキング大会 (山江温泉ほたる～万江小学校)** 49 人
・ 昨年からの実施を始めたホテル観賞ウォーキング大会が非常に好評であり、家族での参加が多く見受けられました。
朝からの降雨で川の増水等が気になりましたが、夜には天候が回復しホテルが飛びやすい湿度の高い環境となったので、昨年以上の乱舞となり参加者は非常に満足されていました。
- ② **ビーチボールバレー交流大会 (山江村体育館)** 99 人
- ③ **ヨガ講座 (山江村農村環境改善センター)** 24 人
- ④ **グラウンド・ゴルフ大会 (山江村中央グラウンド)** 21 人
- ⑤ **リフレッシュキャンペーン (山江サービスエリア)** 4 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ

広報・周知

区長会や体育部長会、村政座談会等、地区での取組を促すよう地区の方が集まれる場で積極的に周知を行いました。

また、ケーブルテレビ、広報、防災行政無線、回覧で周知を続けながら、村内の事業所へのぼりとポスターの設置とともに事業所単位での取組も依頼しました。

製作物

チラシ 1,250 枚 / ポスター 30 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 30 本 / Tシャツ 40 枚

実施効果

地区独自での早朝ラジオ体操や役場職員互助会でのごみ拾いウォーキングなど、実行委員会が携わらないところでの自主性が今回から特に見られました。

担当者から

今回は悪天候により、序盤から参加人数の伸びが悪かったように感じました。

実行委員会主催イベントについては安定した参加がありました

が、総合的に見ると、昨年からの村内での参加者はほぼ変わらず、参加率の減少については、昨年参加があった村外の方であったようです。

根本的な取組方針を見直し、より村民の方が参加しやすい取組を今後検討していく必要があります。



合戦の峰地区早朝ラジオ体操



白熱したビーチボールバレー交流大会

チャレンジデー
雨天に泣き3敗目
参加率4割届かず「次こそ」

同じ人口規模の自治体同士でスポーツの住民参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国一斉に開催され、4年連続の挑戦となる山江村は、初参加の長野県小海町に敗れた。「チャレンジデー」は、スポーツの習慣化や地域活性化を目的とした住民参加型のスポーツイベント。午前0時から午後9時までの間、住民が15分以上継続した運動、スポーツの参加率を競う。公益財団法人笹川スポーツ財団と各実施自治体の主催で毎年行われている。

16日には、内山慶治村長と小海町の新井寿一町長が、それぞれの役場からインターネットのテレビ電話でエールを交換していた。

当日は、ヨガ教室やホタル観賞ナイトウォーキング、ビーチボールバレー、グラウンドゴルフ、ニュースポーツなどに村民1422



ヨガ教室に参加する女性たち

人が参加し、楽しく汗を流した。ビーチボールバレーは99人の参加で盛り上がり、最初は

リードしていたが徐々に追いつかれた。その結果、参加率39.1%となり、小海町の同47.1%に逃げ切られる形に。前回の同43.1%にも届かなかった。村教育委員会の担当者も敗因の一つとして、「前回と同じ数のイベントをしたが、雨天のために屋外スポーツの参加者が少なかった」と話していた。

主 催

宇佐市チャレンジデー実行委員会 (委員長 是永修治)
宇佐市役所 経済部 文化・スポーツ振興課 スポーツ振興係
〒 879-0492 大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1
宇佐市役所

TEL : 0978-32-1111 FAX : 0978-32-1272

結 果

人 口 : 58,085 人 大分県宇佐市 ○
参加者数 : 35,923 人 VS
参加率 : 61.8% 広島県三次市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① チャレンジイベント (三和酒類スポーツセンター) 641 人
 - ・ オープニングとしてキッズダンスチーム「ルビンリム」によるダンスパフォーマンスや、健康運動指導士の渡辺玲子氏による健康体操「みんなで体操～楽しく動いてリフレッシュ!～♪」、地元大分県立宇佐高等学校書道部による書道パフォーマンスなど幼児から高齢者まで幅広い年代が、運動の楽しさを実感できる内容で実施しました。
- ② 楽しく踊ろう民謡レクリエーションの集い (長洲公民館) 114 人
- ③ 宇佐グラウンド・ゴルフ大会 (旧ポリテクセンター跡地) 112 人
- ④ チャレンジゲートボール大会 (糸口ふれあいプラザ) 96 人
- ⑤ 院内支所ラジオ体操 (院内支所前広場) 85 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 総務担当部署 / 子育て担当部署 / 介護保険担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 大学・短大・高専・専門学校 / 商工会 / 青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / ゲートボール協会 / グラウンド・ゴルフ協会 / ウォーキング協会

メディア

大分合同新聞 / 宇佐市インターネット放送局「USA チャンネル」

広報・周知

宇佐市チャレンジデー 2016 を印字した絆創膏を作成し、市内の大型スーパーの出入り口でチラシと共に配布し、周知と参加を促しました。

製作物

チラシ 35,000 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 5 枚 / のぼり 150 本 / 懸垂幕 1 枚 / Tシャツ 50 枚 / 絆創膏 6,000 個

実施効果

日常生活の中で、ライフステージに応じた健康・体力づくりの大切さと、ヘルスプロモーション (自分の健康は自分で守る) の意識の啓発ができ、運動やスポーツが生活の質 (QOL) の向上に繋げることができました。

担当者から

チャレンジデー実施後でも、ウォーキングや体操を継続実施しているとの声を聞いています。健康寿命に関心を持つ市民が増え、各種スポーツ団体への加入者 (会員) が増えています。



楽しく踊ろう民謡レクリエーション



チャレンジイベント～リフレッシュ体操～



パークゴルフ大会

主 催

杵築市チャレンジデー実行委員会 (代表 永松 悟)
 杵築市教育委員会文化・スポーツ振興課
 〒 873-0014 大分県杵築市本庄 2005 番地
 杵築市文化体育館
 TEL : 0978-63-5558 FAX : 0978-63-5559

結 果

人 口 : 30,645 人
 参加者数 : 12,895 人
 参加率 : 42.1%
 取得メダル : 銀

大分県杵築市 ●
 VS
 宮城県東松島市 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 軽スポーツ(レクリエーション・ストレッチ・ダンス・ヨガ等) (文化体育館アリーナ) 1,769 人
- ② ラジオ体操(各企業、団体、自治公民館施設) 1,215 人
 - ・ 早朝、休憩時間や昼休み時間など、誰でも、どこでも、どなたとも簡単に出来る体操を、一日 1 回は必ずして、リラックスして頂きたいと思っています。
- ③ ウォーキング(文化体育館周辺) 477 人
- ④ 散歩(文化体育館周辺) 321 人
- ⑤ 新体操教室(文化体育館アリーナ) 135 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／総務担当部署／社会教育担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

大分合同新聞／きつきど〜んとテレビ

広報・周知

企業、団体、学校関係、福祉関係、区長連合会に参加依頼をお願いし、市民にはケーブルテレビや防災ラジオでの放送等で周知したことで、成果が得られたと思います。

製作物

チラシ 20,000 枚／ポスター 85 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕(その他) 2 枚／のぼり 350 本／懸垂幕 2 枚／Tシャツ 50 枚／ポケットティッシュ 2,000 個

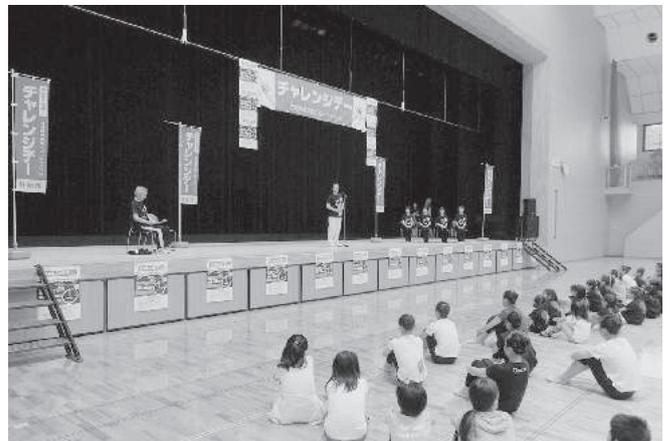
実施効果

今回 2 回目の実施ということで、昨年よりも参加者数及び参加率を UP することができたことは、評価できるものと考えられます。しかしながら、まだまだ参加報告の仕方やアピールの方法など、取り組まなければならない事が考えられることから、来年の

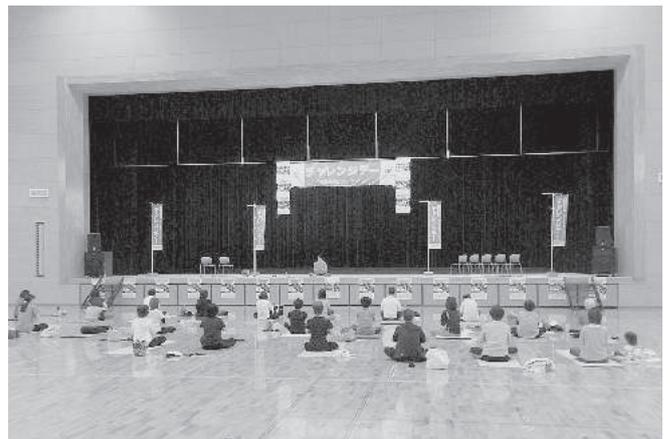
早い段階からお願いや広報活動を行い、初勝利したいと思います。



対戦相手の市長との電話エール交換



開会式



身体に優しいヨガ

チャレンジデーを前に

宮城県東松島市と
杵築市がエール交換

人口が同規模の自治体同士が住民のスポーツへの参加率を競う「チャレンジデー」を前に杵築市は23日、対戦相手の宮城県東松島市とエールの交換をした。

永松梧杵築市長と阿部秀保東松島市長が電話で対談。永松市長は「互いの距離は離れているが、対戦を楽しみにしています」と健闘を誓った。

対戦は25日午前0時〜午後9時まで。スポーツやストレッチ、散歩など15分以上運動した市民の割合を競う。杵築市の参加は2回目。当日は、市文化体育館などのスポーツ施設を無料開放する他、サッカーやヨガ

などのスポーツ教室、イベントが市内各地で開かれる。

期間中の電話報告・問い合わせは☎0120・055・669または、市教委文化・スポーツ振興課(☎0978・63・5558)へ。



対戦相手の宮城県東松島市とエール交換する永松梧市長と杵築市役所

2016年5月25日 水曜日 大分合同新聞

杵築市が「チャレンジデー」

各地ではつらつ交流

杵築市は25日、同規模人口の自治体同士でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」で宮城県東松島市と対戦。参加率は42・1%と前年(33・2%)から8・9%増えたが、東松島市「松永新体操クラブによる「新体操教室」を開講。市内各地で、スポーツ教室やイベントが開かれ、市民らは爽やかな汗を流した。市文化体育館では、約100人がストレッチやボールを使った体操で体を動かした。



新体操教室でストレッチをする子どもたち＝杵築市文化体育館

市教委文化・スポーツ振興課は「対戦では負けてしまったが、これを機に健康、体力づくりを習慣付けてほしい」と話した。ルールに従い、市庁舎に東松島市旗を1週間掲げる。

2016年5月25日 水曜日 大分合同新聞

主催

豊後大野市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 橋本祐輔）
豊後大野市教育委員会社会教育課
〒 879-7198 大分県豊後大野市三重町市場 1200 番地
TEL : 0974-22-1001 FAX : 0974-22-6828

結果

人口 : 38,024 人 大分県豊後大野市 ●
参加者数 : 15,990 人 VS
参加率 : 42.1% 長野県東御市 ○
取得メダル : 銀

プログラム（太字：特に力を力を入れているプログラムと内容）

- ①グラウンド・ゴルフ大会(市内 6 会場(三重町・清川町・緒方町・朝地町・大野町・千歳町)) 441 人
- ②オープニングイベント・ラジオ体操など(市内 11 ヵ所) 367 人
- ③原尻の滝ウォーク(道の駅原尻の滝周辺(緒方町)) 316 人
- ④スポーツ玉入れ大会(ファイナルイベント緒方会場)(緒方中学校体育館) 260 人
 - ・ファイナルイベントとして行われたスポーツ玉入れ大会は、4～6 人のチームで誰でも参加できます。職場グループや友人グループなどでチームをつくり一致協力して行うため、お互いの親睦を深めることができ、楽しく参加できます。今回は市内 2 会場で行いましたが、各会場とも盛大に開催されました。
- ⑤スポーツ玉入れ大会(ファイナルイベント三重会場)(大原総合体育館メインアリーナ) 230 人

【アスリート・著名人など】

大分三好ヴァイセアドラー(V リーグ(ポールコーチ、小林コーチ、細川優樹選手、高山伸悟選手)) / バサジィ大分(F リーグ(吉武監督、檜山昇吾選手、田中優輝選手、藤川朋樹選手))

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 大学・短大・高専・専門学校 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 市議会 / 医師会 / 建設業協会 / 農協

メディア

大分合同新聞 / 大分合同新聞 / ケーブルテレビ

広報・周知

- ・ケーブルテレビを活用し、自主放送番組にゲスト出演することで、チャレンジデーのイベント内容などを紹介し、参加(運動)の呼びかけや報告方法などを周知することができました。
- ・音声告知放送を活用し、定期的に参加率を公表し、市民にチャレンジデーへの参加と報告を呼びかけました。

- ・市内企業を訪問し、参加の依頼を行ったところ、多くの協力を得ることができました。

製作物

チラシ 16,000 枚 / ポスター 250 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 100 本 / 懸垂幕 1 枚 / T シャツ 50 枚

実施効果

昨年より参加率は下回りましたが、各イベントの内容としては、市民が手軽に参加ができる体験型のイベントなど、運動をするきっかけづくりになったと思います。プロスポーツチーム(2 球団)と市内小学校(2 校)との交流イベントでは、プロスポーツ選手と直接触れ合うことで運動することの楽しさや選手の技術の凄さを体験することができ、子どもたちには貴重な時間となりました。ファイナルイベントとして、スポーツ玉入れ大会を市内 2 会場で行いましたが、多数のチームが参加し、仮装したチームもあり、会場は大いに盛り上がりました。

担当者から

チャレンジデーは 5 回目の実施で目標参加率 52% と設定しましたが、目標数値に届かず参加率を上げることは安易ではないことを痛感しました。イベントとしては定着しつつありますが、単なるイベントで終わらず、市民が日ごろから運動を習慣として取り入れることで、健康意識の向上にもつながることを期待しています。



よく狙って、「せーのっ！」(スポーツ玉入れ大会)



早起きは、気持ちがいいね。(早朝ラジオ体操)



昨年の金メダルを手にする橋本祐輔市長とチャレンジデー運営に当たる市教委職員。豊後大野市中央公民館

長野県、海外の計3市と対戦

豊後大野市は、25日に全国で開かれる住民総参加型スポーツイベント「第24回チャレンジデー」に参加する。「ワールドチャレンジデー」にも挑戦する。イベントは、同日午前0時から午後9時までに15分以上続けて運動をした人の人口比率を自治体同士で競う。国内128自治体（うち県内は4市）が参加予定で、豊後大野市は長野県東御市と対戦する。

豊後大野市 あす「チャレンジデー」

市の花園利夫市長とテレビ通信でエール交換した。21万の54地域（うち国内は4市町村）が参加する「ワールド」では、マルシー市（ギリシャ）とベニトフアレス市（アゼルバイジャン）と対戦する。参加申し込みは不要で、軽い運動でも可。当日の時間内に、市中央・各町公民館に氏名や運動内容などを伝える。市内7町で午前6時20分（緒方、犬飼両町は同7時）からラジオ体操を実施。スポーツ玉入れやバブルサッカーなど37の大会・教室も開く。問い合わせは市教委社会教育課スポーツ推進係（☎0974・22・1001）へ。

2016年5月24日 火曜日 大分合同新聞



折り畳まれて狭くなったフルシートの上に乗ると、朝地中生の肩に乗る朝地小児童

長縄跳び、リレーで連携

豊後大野市チャレンジデー

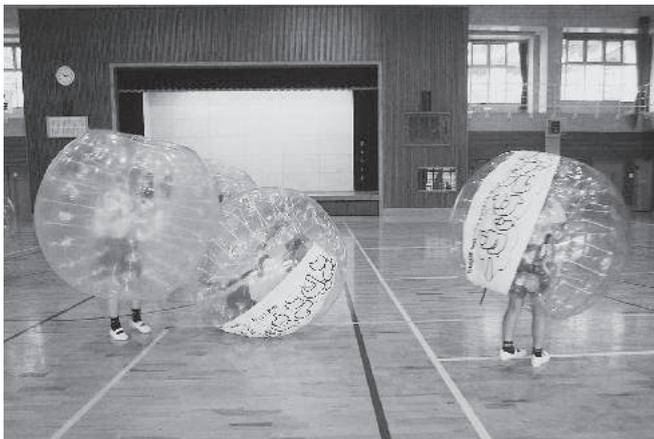
豊後大野市は25日、自治体同士でスポーツ参加率を競う「第24回チャレンジデー」に参加した。15分以上の運動をした市民の人口比率を競い、同市は1万5990人（人口比42・1％）が参加。対戦相手の長野県東御市は1万7382人（人口比56・5％）で、昨年に続いての勝利はなかった。

午前6時すぎ、各町でのラジオ体操を皮切りに、各種スポーツ大会や教室を実施。午後9時まで多くの市民が汗を流した。朝地町の朝地小学校（小野達郎校長、102人）と朝地中学校（原尻裕之校長、50人）は、合同体育集会「スマイルフェスティバル」を開催。六つの縦割り班に分かれ、長縄跳び、2人一組でいろいろな走り方をする「バラエティリレー」などに取り組んだ。生徒会長の木下結稀さん（15）は3年

・顔写真真右、児童会長の渡辺慧君（12）は「連携がうまくいき、交流が深まった」と話した。市教委社会教育課は「雨の影響に加え、市民への周知が足りなかった」と話している。



2016年5月27日 金曜日 大分合同新聞



倒されても平気だよ。（バブルサッカー）

主催

豊後高田市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 永松博文）
豊後高田市教育委員会 総務課
〒 872-1101 大分県豊後高田市中真玉 2144-12
TEL : 0978-53-5112 FAX : 0978-53-4731

結果

人口 : 23,300 人 大分県豊後高田市 ●
参加者数 : 10,173 人 VS
参加率 : 43.7% 北海道芽室町 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①早朝市内一斉ラジオ体操(市内全域) 810 人
 - ・軽快なラジオ体操の音楽を早朝に放送することで、チャレンジデーの機運を盛り上げました。多くの方の参加を促す目的のために、市内全域に設置している屋外拡声機 66 機すべてを活用して、朝 6 : 30 にラジオ体操第一・第二を初めて放送しました。
- ②オープニングイベント(ラジオ体操) (高田体育センター) 261 人
- ③元プロ野球選手による熱血野球教室(真玉市民グラウンド) 198 人
- ④ナイトウォーキング(中央公園～市内～中央公園(3.5km)) 145 人
- ⑤田染グラウンド・ゴルフ(田染公民館) 100 人

【アスリート・著名人など】

高畑こと美(女優、昨年末より本年 2 月までテレビ取材のため本市への移住生活を体験) / 川崎憲次郎(元プロ野球選手、1993 年「日本シリーズ最高殊勲投手賞」、1998 年「沢村賞」「最多勝利投手賞」) / 笹篠賢治(元プロ野球選手、1989 年「セリーグ新人王」)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / ボランティア組織 / NPO 法人(子育て関係)

メディア

大分合同新聞 / ケーブルテレビ

広報・周知

- ・ 4 月以降に開催される各種団体の会合に職員が赴き、チャレンジデーの PR 活動を行いました。
- ・ 関係職員が市内事業所を訪問し、市外からの通勤者を含めたチャレンジデーの PR 活動を行いました。
- ・ 前日に本市にゆかりのある女優を招き、市内で施設訪問並びに屋外拡声器による PR 活動をしてもらいました。
- ・ 当日においても、屋外拡声器による各自の取り組み報告の周知

を行いました。

製作物

チラシ 10,000 枚 / ポスター 400 枚 / 大型横断幕 3 枚 / のぼり 100 本 / Tシャツ 40 枚

実施効果

この「チャレンジデー」は、数ヶ月にわたり、個人や各団体に「運動」への取り組み等を積極的に呼びかける大変貴重な機会を与えていただきました。当日はあいにくの悪天候のため、参加率は低調でしたが、雨のなか積極的に運動に取り組んでいただいたことは、今後の財産になると思います。

担当者から

- ・ ポスターの納品が 4/25 でしたが、配布準備の都合上、せめて 4/15 までに納品していただきたいです。
- ・ 今年の Tシャツは、素材が変わり、大変好評でしたが、納品が 5/16 とかなり遅かったので、これについても早く納品していただきたいです。
- ・ 大変有意義な取り組みと思います。



臼野地区ウォーキング(準備体操)



熱血野球教室(川崎憲次郎)

25日・豊後高田市で「チャレンジデー」

「25日はぜひ運動を」とPRする市職員



豊後高田市は25日、運動した住民の参加率を競う全国同時開催のイベント「チャレンジデー2016」に参加する。当日は市内各地で各種イベントがある。

菅川スポーツ財団(東京都)が毎年開催している。今年も全国130自治体が参加。同日午前0時〜午後9時までの間に15分以上運動した住民の参加率を競う。9年連続で参加しており、今回は北海道芽室町(人口1万9023人)と対戦する。

当日は午前6時から中央公園で女優の高畑こと美さんを招いてラジオ体操とウォーキングを聞く。各地でクラウンゴルフや元プロ選手の野球教室などがある。NPO法人「TMKチャレンジクラブ」主催の各スポーツ教室を無料で利用できる。問い合わせは市教委内の実行委(☎0978・53・5112)へ。

北海道芽室町と勝負!

2016年5月18日 水曜日 大分合同新聞

気分爽快!体操・野球に汗

宇佐と豊後高田両市は25日、自治体同士でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー2016」(菅川スポーツ財団主催、東京都)に参加。さまざまな運動を通して楽しく汗を流した。

宇佐市の三和酒類スポーツセンターで開かれたチャレンジイベント「みんなで体操楽しく動いてリフレッシュ」には市民641人が参加。講師を務めた健康運動指導士の渡辺玲子さんの指導で音楽に合わせて全身を動かし、心地よい汗を流した。

その他、市内各地でクラウンゴルフ、バスケットボール、卓球、剣道、柔道など多彩な大会や教室が開かれた。

両市の参加率は61・8%で、



音楽に合わせて体を動かす宇佐市民

宇佐・豊後高田で「チャレンジデー」

豊後高田市は勤労青少年ホーム(市内高田)で開かれた「早朝ラジオ体操」を皮切りに、各地で健康体操などを企画して参加率向上を狙った。

真玉市民グラウンドでは元プロ野球選手の川崎憲次郎さん(46)と菅原賢治さん(49)の野球教室を開催。市内の小中学生約170人が参加した。川崎さんは投球フォームを、菅原さんは走塁時の動きを教えて、「プロ野球選手のプレーをよく見て、まずは練習試合で使ってみよう」とアドバイス。途中から激しい雨が降ってきたが熱血指導を続けた。

この日は天候が悪かった影響

もあり、住民参加率は43・7%。対戦相手の北海道芽室町(62・8%)に負けた。



中学生に川崎憲次郎さん(左)が投球フォームを指導

2016年5月27日 金曜日 大分合同新聞



オープニングイベント(ラジオ体操)

主 催

諸塚村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 西川 健)
 諸塚村教育委員会

〒 883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683

TEL : 0982-65-0072 FAX : 0982-65-0661

結 果

人 口 : 1,857 人 宮崎県諸塚村 ○
 参加者数 : 1,651 人 VS
 参加率 : 88.9% 秋田県大潟村 ●
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 諸塚村玉入れ選手権大会 (諸塚村民体育館) 50 人
 - ・九州大会を本村で開催しているアジャタと呼ばれる玉入れ競技ですが、その村内大会を毎年チャレンジデーに合わせて開催しています。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 青少年健全育成組織 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会

メディア

釧路新聞 / (有) 総合企画 / 町広報誌

広報・周知

本村は、自治公民館制度により行政等情報全般が村内住民に周知されるため、公民館長や各公民館体育部長の会合において、事前に情報と参加依頼をしています。

また、工事等で村内滞在している土木関係業者等にも旅館・民宿を通して、参加協力を呼びかけました。

製作物

チラシ 30 枚 / ポスター 15 枚 / のぼり 7 本 / Tシャツ 30 枚

実施効果

村内各地区において活動を実施したことで、地域の連帯強化につながっていると思います。

担当者から

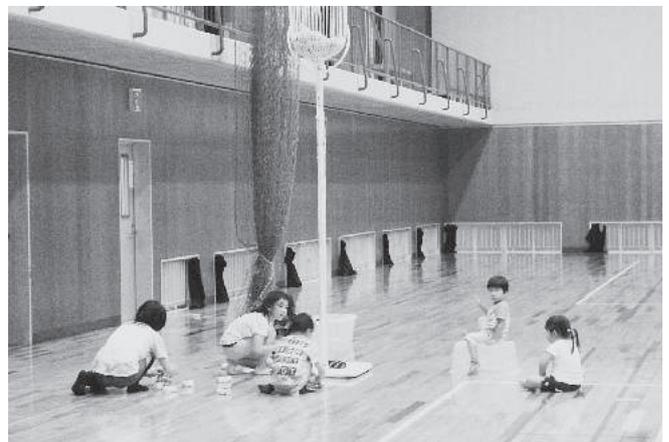
毎年の課題となりますが、この運動等実施が定期的かつ継続した活動につながっていくことを期待したいです。



玉入れ



玉入れ



玉入れ

チャレンジデー2016

150万人の15分間の健康スポーツデー

5月25日(水) 村民総参加

午前0時～午後9時

2016:5:25



諸塚村

VS

大瀧村

(秋田県)

ノヴィグラード・

チッタノヴァ

(クロアチア)

主催:チャレンジデー2016 諸塚村実行委員会

共催:諸塚村 後援:諸塚村観光協会 主管:諸塚村教育委員会・諸塚村スポーツ推進委員会・諸塚村体育協会

★チャレンジデーは、15分以上の健康運動に参加するスポーツイベントです!

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民の参加率(%)」を競い合います。今回は、大瀧村(秋田県)とノヴィグラード・チッタノヴァ(クロアチア)と対戦します。ぜひ、諸塚村の名を世界にアピールしましょう。

★いつでも、どこでも、だれでも、なんでも、楽しく参加できます!

チャレンジデーは、年齢、性別を問わず、だれでも、どこでも、どんなスポーツをしてもOK! 家族ぐるみ、職場ぐるみ、地域ぐるみで参加しても、一人で参加してもOK! その日に諸塚村内にいる人であれば、だれでも、参加する事に意義があるのです。みなさん一人ひとりが主役です。気軽に楽しい健康づくり運動に参加しましょう!

★健康運動に参加したら必ず実行委員会のFAX/電話番号へ報告を!

チャレンジデーに参加した人は、集計センターに電話またはFAXでご報告願います。報告は午後9時30分まで受け付けます。なお、登録は1人1回限りです。

15分以上運動したら、必ず集計センターFAX65-0661/電話 65-0072 まで報告を!!

チャレンジデー PR用チラシ

主 催

阿久根市チャレンジデー実行委員会 (会長 西平良将)

阿久根市教育委員会 スポーツ推進課

〒 899-1611 鹿児島県阿久根市赤瀬川 2486-1

阿久根市総合体育館

TEL : 0996-73-4649 FAX : 0996-73-4639

結 果

人 口 : 21,882 人 鹿児島県阿久根市 ●●

参加者数 : 8,126 人 VS

参加率 : 37.1% 北海道名寄市 ○

取得メダル : 銀 徳島県三好市 ○

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／商工会・青年会議所

広報・周知

チラシ(実施報告書)の市内全戸配布, 企業への協力依頼, 防災無線・広報誌掲載のほかに, 区長会総会でチャレンジデーの周知を行いました。

製 作 物

チラシ 10,000 枚／ポスター 75 枚／Tシャツ 50 枚

実施効果

個人の報告件数が年々増えており, 市民の方の認知度も上がり, また生涯スポーツの意識付けが図られたのではないかと思います。

担当者から

チャレンジデーへの市民の皆さんの認知度が上がってきていることを感じました。ただ, 認知度は上がっても, それが報告に直結しているわけではないということも感じました。今後は, いかに生涯スポーツに取り組んでいただき報告をしていただくか, 良い方法を検討していかなければならないと感じました。



西目小学校



グラウンド・ゴルフ



みなみ保育園

チャレンジデー2016inあくね

5月25日（水曜日）に開催しました「チャレンジデー2016inあくね」について、結果をお知らせします。

市	参加人数	参加率
阿久根市	8,126人	37.1%
北海道名寄市	17,463人	61.0%
徳島県三好市	17,698人	62.8%

市民の皆さまには参加報告等、たくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。このチャレンジデーをきっかけに、毎日の生活に運動習慣を取り入れ、健康づくりに心がけましょう！！

関連情報

笹川スポーツ財団「チャレンジデー2016」

<http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/2016/table.html>

阿久根市 HP

主 催

奄美市チャレンジデー実行委員会 (会長 朝山 毅)
奄美市教育委員会 市民スポーツ課
〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町 19-21
TEL : 0997-52-1111 FAX : 0997-53-9501

結 果

人 口 : 44,722 人 鹿児島県奄美市 ○
参加者数 : 24,689 人 VS
参加率 : 55.2% 秋田県能代市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①買い物ウォーキング(タイヨー平田店) 2,257人
- ②ウォーキング(大島高校) 850人
- ③長縄跳び大会(朝日小学校) 667人
- ④チャレンジデー 1,000人ラジオ体操祭(名瀬小学校校庭) 530人
・チャレンジデー 1,000人ラジオ体操祭は奄美市「元気で・運動をするキッカケをつくり・ラジオ体操を広める」をキャッチフレーズにラジオ体操指導士が講師となり、運営を奄美市スポーツ推進委員が行っています。
- ⑤買い物ウォーキング(タイヨー浦上店) 465人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／婦人会

メディア

南海日日新聞／奄美新聞／NHK 鹿児島放送局／あまみエフエム「ディ!ウエイヴ」

広報・周知

チャレンジデー 2016 の開催に伴い、地元新聞及びラジオでの積極的な広報を行いました。また、公用車で宣伝をはじめ奄美市内小中学校全児童へ、チャレンジデー参加への呼びかけと参加報告書を配布し、必ず報告をしていただくように宣伝を行いました。

製作物

チラシ 3,000 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 3 枚／のぼり 100 本／Tシャツ 200 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／タオル 250 枚

実施効果

今回で 8 回目の実施ですが、市民のチャレンジデー事業に対す

る理解の浸透も図られ、以前にもまして地域住民のスポーツに対する意識が高まってきたと思います。特にウォーキングやグラウンド・ゴルフ等身近で手軽にできるスポーツが行われています。このチャレンジデーをきっかけにスポーツを通して健康づくりを推進していきたいと思います。

担当者から

チャレンジデーを通して多くの市民がスポーツを身近に感じ、「いつでも・どこでも・だれでも」をキャッチフレーズに気軽に組み組んでいける地域社会が築けたらいいと思います。



1,000人ラジオ体操祭



大島地区女性マサゲーム講習会

今年も秋田・能代市と対戦

5月25日にチャレンジデー

実行委



「参加率50%超えを目指そう」と呼び掛けた要田教育長。21日、奄美市役所

5月25日、全国で開く市教委や体育協会、スポーツ推進など関係者約40人が参加。今回は参加率47%を目指す。実行委員会は積極的に市民の参加を呼び掛けることを申し合わせた。

チャレンジデーは15分以上の運動をした住民の参加率を競う住民参加型スポーツイベント。人口が同じ規模の自治体と競う。奄美市の参加は今回8回目。対戦相手は秋田県能代市。朝山毅・実行委員長（要田憲雄教育長代読）は「これまで個人の参加報告が少なかった。前年より広報などに力を入れて参加率50%超えを目指したい」と意欲を示した。

主な取り組みは5月25日午前6時から奄美市の名瀬小学校で行われる「1000人ランジオ体操祭」への参加を呼び掛けていくほか、個人の参加者増加を目指し、報用紙を市内各校で配布する。質疑応答では各地区代表者から「放送設備がない自治体、町内会のために防災無線で参加を呼び掛けられないか」「小規模で習い事やスポーツをしている団体への周知に力を入れてほしい」などの要望があった。

2016年4月23日 土曜日 南海日日新聞社

奄美市と能代市、25日に対戦

テレビ電話でエール交換

人口規模がほぼ同じ自治体間で住民の運動参加率を競う「チャレンジデー2016」が25日、全国で開催される。イベントを前に奄美市の朝山毅市長は17日、対戦相手となる秋田県能代市の齊藤滋宣市長とテレビ電話で会談し、エールを交換した。

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に開催。午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動した住民の参加率を競う。奄美市では千人ランジオ体操祭、グラウンド・ゴルフ大会、ウォーキング、マラソン講習会などを予定。能代市はきりたんぽ鍋や高校バスケットなどが有名。エール交換



齊藤市長とテレビ電話で会談する朝山市長。17日、奄美市役所

2016年5月18日 水曜日 奄美新聞

奄美市勝利、参加率55.2%

和泊町惜敗も69.6%

全国一斉開かれた「チャレンジデー」の結果が25日、主催する公益財団法人「笹川スポーツ財団」から発表された。奄美群島から参加した奄美市は参加者2万4800人・参加率55.2%。和泊町は参加者4800人・参加率69.6%だった。奄美市は、対戦した秋田県能代市の参加率44.2%を上回った。和泊町は秋田県・井川町に敗れた。

同イベントは、人口比率が同じ規模の自治体同士で一日15分以上、体を動かした住民の参加率を競う。毎年5月の最終水曜日に開催し今年も25日実施した。敗れた自治体は、相手自治体旗を1週間掲揚し、健闘を称える。今回は全国1120自治体で292万2800人が参加。平均参加率は54.3%だった。

奄美市・人口4万4700人は今回8回目の参加。対戦した能代市（同5万6100人）に勝ち通算成績を加算し4勝4敗とした。同市チャレンジデー実行委員会の岡山嗣夫委員長は「イベントへの参加意識が浸透している」と述べ、目標だった参加率47%の達成を喜んだ。

和泊町（同6874人）は参加率を前年比で3割以上伸ばしたが、同76.6%だった井川町（同5041人）に敗れ、通算成績は6勝6敗となった。

2016年5月27日 金曜日 奄美新聞

主催

指宿市チャレンジデー実行委員会 (委員長 豊留悦男)
指宿市教育委員会 スポーツ振興課
〒 891-0404 鹿児島県指宿市東方 12000 番地
TEL : 0993-27-0203 FAX : 0993-27-0204

結果

人口 : 42,816 人
参加者数 : 22,007 人
参加率 : 51.4%
取得メダル : 金

鹿児島県指宿市 ○
VS
富山県魚津市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①いぶすきチャレンジデー(各小・中・高等学校) 4,266 人
- ②健幸運動(各自治会(区)) 1,419 人
 - ・ 健幸づくりの一環として、各自治会(区) が自らの地区民を対象に実施する運動です。内容は、ラジオ体操やウォーキングなどです。
- ③ころばん体操体験会(指宿総合体育館) 201 人
- ④かんたん軽スポーツ体験(指宿総合体育館) 75 人
- ⑤キックボクシング体験教室(指宿総合体育館) 32 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署

メディア

鹿児島テレビ(KTS) / 南日本新聞

広報・周知

- ・ 各種団体・企業等の協力による、のぼりの掲出 ⇒ 市内あちらこちらで掲出されて、目立っていたと市民から評価されました。
- ・ ウェブサイトの充実(※ タイムリーな情報掲載)
- ・ 広報紙面を活用したチャレンジデー情報の充実(※ 昨年は、1 ページ。今年は 2 ページ。)
- ・ 市役所庁舎ロビーにチャレンジデーコーナーを設置(※ 対戦相手の情報も掲載)

製作物

ポスター 250 枚 / 大型横断幕 1 枚 / 横断幕(その他) 10 枚 / のぼり 369 本 / 懸垂幕 1 枚 / Tシャツ 50 枚

実施効果

年々、健幸に対する意識が高まってきていると思います。そのことは、しっかりと数字に反映されています。日常の中で自分の出来る範囲の運動を行い、健幸になりましようと呼び掛けてきたことが良かったと思います。今後も、市民に対しチャレンジデーを通して健幸づくりを提供していきたいと思っています。



たくさんの高齢者が参加した『ころばん体操体験会』

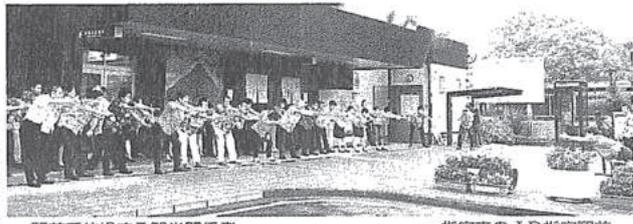


今年新たに行った『キックボクシング教室』



観光客も参加した駅前での健幸運動

スポーツ参加率競う 6市町の20万人チャレンジデー



駅前で行われる観光関係者

＝指宿市のJR指宿駅前

人口規模が近い自治体同士がスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2016」が5月25日、全国で実施され、鹿児島県から南さつま市、指宿、霧島、阿久根、葦葉、和泊の6市町が参加し計19万8472人が汗を流した。

挑戦3回目の霧島市は秋田県横手市と戦い、90・1％対88・5％で勝利した。主催する笹川スポーツ財団（東京都）によると、

人口7万2500人未満のグループで90％越は初めて、団体、組織によるまとまった報告が増えた。「市民の勝負への意識が変わってきている、手応えを感じ」（保健体育課）

60％達成の目標を掲げていた南さつま市は、前年より21・6ポイント増の68・3％。対戦相手の県外2市とも55％台にとどまったため、初勝利を取めた。市で浦ふれあいセンターで10人が練習した和太鼓集団「大浦豊太鼓」の（前野美幸会長、47）は、「健康づくり、地域活性化に取り組み趣旨に賛同した」と話した。

2016年6月1日 水曜日 南日本新聞

IBUSUKI まちのお知らせ ピックアップ

5月25日(水)はみんなが運動を
チャレンジデーに
参加しよう



チャレンジデーとは

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で開催される市民参加型のイベントです。当日、スポーツや運動を行った人の参加率を、対戦相手の自治体と競います。市民はもちろん、開催日に市内にいる全ての人が対象です。15分以上継続して体を動かしたら、必ず報告しましょう。

対戦相手は

富山県魚津市
魚津市は、人口約4万2千人で、本市とはほぼ同じ規模の自治体です。今回で4回目の参加で、昨年の参加率は47・3％。本市の47・8％と同等で接戦が予想されます。市民総ぐるみで取り組み、勝利を呼び込みましょう。



運動したら

時間／0時～21時
対象／スポーツや散歩、ラジオ体操などの運動、ごみ拾いなど、15分以上継続して運動をした人や団体

報告を！

▼時間／21時30分まで
▼報告方法
右下の参加報告書を、地区や区などの投票箱に入れる

市ホームページからQRコードからアクセス



図スポーツ振興課スポーツ振興係 ☎0203



今年も参加します！



田村 信弘さん(成川浜)

昨年は、成川区民センターでラジオ体操に参加しました。私は体を動かすことが大好きです。健康づくりのために、時間を見つけて家の周りを歩いたり、屈伸運動をしています。おかげで足が軽くなり、肩も凝らなくなり、体調も非常に良いです。今年も、チャレンジデーに参加して楽しく体を動かしたいと思っています。

指宿市チャレンジデー2016 参加報告書

個人又は団体名	
地区名	
運動内容	
参加人数	

※報告は、1人1回です。

主催

霧島市チャレンジデー実行委員会 (委員長 前田終止)
教育委員会保健体育課

〒 899-5192 鹿児島県霧島市隼人町内山田一丁目 11 番 11 号
隼人庁舎

TEL : 0995-42-1117 FAX : 0995-43-5380

結果

人口 : 126,847 人 鹿児島県霧島市 ○
参加者数 : 114,289 人 VS
参加率 : 90.1% 秋田県横手市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①霧島市職員等こざい大作戦(市役所庁舎(7庁舎)近辺) 1,792 人
 - ②霧島市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会(住吉運動公園 他市内各地) 1,243 人
 - ③霧島温泉駅花のある駅づくり運動(霧島温泉駅) 190 人
 - ④木曜会ゲートボール大会(まきのほら運動公園まきばドーム) 180 人
 - ⑤スポーツ推進委員ニュースポーツ体験講座(国分・隼人・横川地区体育館) 124 人
- 霧島市は、特定のプログラムに力を入れているというより、事前の広報・周知活動に全力を注いでいます。当日のプログラムについては、一市民による取組から数千人規模に及ぶ地域や事業所等での取組にいたるまで、それぞれに創意工夫いただき、自主的かつ積極的な取組が行われています。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／小学校(校長会)／中学校(校長会)／大学・短大・高専・専門学校／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／商工会議所／観光協会／農業協同組合／特産品協会

メディア

朝日新聞／南日本新聞／南九州ケーブルテレビネット／FM きりしま

広報・周知

- 各種団体の総会等において、市長を筆頭に全職員が一丸となってチャレンジデーへの参加を呼びかけました。
- 全戸にチラシを配布するとともに、自治公民館長、自治会長に住民への周知と当日の参加報告のとりまとめを依頼しました。
- 市内事業所等に対し、直接訪問やダイレクトメールを送付するなどし、参加協力を要請しました。
- 地元メディアによる CM 放送、市役所庁舎での館内放送、広報車による巡回を行いました。

製作物

チラシ 63,800 枚／ポスター 300 枚／のぼり 350 本／懸垂幕 1 枚／Tシャツ 50 枚

実施効果

市民の皆様健康への意識を高めてもらう良いきっかけづくりになりました。また、「チャレンジデー勝利」という一つの目標に向かって、皆で協力・連携することの大切さを改めて実感する良い機会であったと考えています。これを機に、さらにまちの一体感が醸成され、「日本一のふるさとづくり」に繋がっていくものと期待しています。

また、対戦相手の秋田県横手市と素晴らしい御縁がありました。今後も末永く交流を深めていけたらと考えています。

担当者から

「市民総参加」を合言葉に、オール霧島で 3 回目のチャレンジデーに臨みました。当日は生憎の空模様となりましたが、事務局の心配をよそに、それぞれの地域で、職場で、学校で独自の創意工夫のもと様々な取組が行われ、結果、目標としていた参加率 90% の大台に到達することができました。対戦相手が同一カテゴリー最強の横手市ということで、市民の皆様が高い団結心をもって臨んだことが最大の勝因だと分析しています。横手市との御縁に感謝いたします。来年も「霧島市民力」をいかに発揮できるよう智恵を絞りたいと思います。



ニュースポーツ体験講座



市老連グラウンド・ゴルフ大会

主 催

チャレンジデー in 南さつま実行委員会 (委員長 本坊輝雄)
教育委員会 生涯スポーツ課

〒 897-0003 鹿児島県南さつま市加世田川畑 2627 番地 1
南さつま市民会館

TEL : 0993-53-2111 FAX : 0993-52-0026

結 果

人 口 : 35,956 人 鹿児島県南さつま市 ○○

参加者数 : 24,555 人 VS

参加率 : 68.3% 秋田県北秋田市 ●

取得メダル : 金 島根県雲南市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① サッカー、ウォーキング(吹上浜海浜公園) 2,051 人
- ② ラジオ体操、ごみ拾い、ウォーキング(株タイハイ) 1,648 人
- ③ ショッピング&ウォーキング(ニシムタ株加世田店) 1,585 人
 - ・ 大型スーパーにおいては、入店からレジを済ませた店を出るまでにほとんどの来場者が 30 分以上滞在しております。この間は、ショッピングしながら歩いている、つまり必然的に運動(ウォーキング)をしている状況でありますので、これを活かし、店内を楽しく、そしてもっと長時間ウォーキングできるような取り組みをお店側と検討・企画していきたいと考えます。
- ④ ショッピング&ウォーキング(サンキュー加世田店) 1,068 人
- ⑤ 買物ウォーキング(ダイレックス加世田店) 900 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／建設維持担当部署／各支所／消防総務担当部署

広報・周知

昨年までチャレンジデーに参加した形跡のなかった企業・事業所を訪問し、チラシ配布と参加のお願いをしたところ、今回は、訪問したほとんどの企業・事業所から参加報告をいただきました。

製作物

チラシ 3,000 枚／ポスター 350 枚／大型横断幕 5 枚／横断幕(その他) 2 枚／のぼり 100 本／Tシャツ 80 枚／テント 1 張

実施効果

今回の実施で 3 度目のチャレンジとなり、三つ巴となる対戦相手が決定してからは、積極的に各種集会や総会、そしてイベント等において、チラシ配布や参加・協力の依頼をチャレンジデー前日まで地道に展開してきました。

また、昨年まで参加した形跡のなかった企業・事業所などに対しても直接事務所を訪問し、チラシ配布や参加・協力依頼を行った結果、認知度 UP や宣伝効果も表れ、最終的な結果として参加

率が昨年と比較し 21.6%もアップし、68.3%で勝利することができました。

担当者から

昨年の参加率 46.7%の本市に対して、いずれも昨年参加率が 58%を超える強豪の北秋田市・雲南市との三つ巴戦となり、これまで 2 連敗中の本市も「三度目の正直」に向け、当初目標とした「参加率 50%から「60%以上」に修正してからのチャレンジデーへの取り組みで、たいへん厳しい戦いでありました。しかしながら、自治会・各種団体・企業等のご協力により嬉しい初勝利となりました。これからもこのチャレンジデーが市民の健康づくり、地域活性化に役立つことになると確信した一日となりました。



事業所でラジオ体操



小学校で体操



保育園・幼稚園で芋植え

主催

和泊町チャレンジデー実行委員会 (会長 伊地知実利)
和泊町教育委員会 事務局
〒 891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊 10 番地
TEL : 0997-92-0300 FAX : 0997-92-2116

結果

人口 : 6,874 人
参加者数 : 4,806 人
参加率 : 69.9%
取得メダル : 金

鹿児島県和泊町 ●
VS
秋田県井川町 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①各字対抗ラジオ体操(各字集会施設) 1,447 人
 - ・本町には 21 字の集落があり、集落の人口規模がほぼ同じ集落対抗で参加率を競い合います。
 - ・子どもから高齢者までの町民すべての方が参加でき、集落内での団結力を高めるとともに、健康増進の意識を高めるきっかけをつくることができます。
- ②陸上記録会(和泊中学校校庭) 323 人
- ③幼児一斉体操・わらんちゃ教室(和泊小学校体育館) 271 人
- ④バレーボール大会(和泊中学校体育館) 155 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会(ヤースチ公園) 149 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／総合型地域スポーツクラブ

メディア

奄美新聞／サンサンテレビ

広報・周知

SSTV(町内ケーブルテレビ) を活用して、独自の CM 作成や文字放送を行った。また、他にも、各行事の開催時に出席して PR することができた。

その結果、チャレンジデーの認知度が高まり、早朝のウォーキング、ごみ拾い、通勤において何らかの運動を行ったという報告が多くあった。

製作物

チラシ 1,680 枚／ポスター 70 枚／大型横断幕 3 枚／横断幕(その他) 4 枚／のぼり 50 本／Tシャツ 40 枚／クリアファイル 350 枚

実施効果

本町は 13 回目の実施となっており、5 月最終水曜日の「チャレンジデー」の認知度は高まってきていることから、町民自ら、早朝ウォーキングやラジオ体操を行い、また、各職場においてもノーカーデーや職場ラジオ体操等を自主的に行い報告をするところが増加してきています。「ヨガ体験教室」や「ボルダリング体験」という昨年から実施している種目を継続して、子どもや女性にも幅

広く健康増進の意識の向上や、新しいスポーツ等を始めるきっかけづくりを図ることができました。

担当者から

チャレンジデーを通じて子どもから高齢者まで幅広くスポーツをする環境を提供できていることが良かったと感じているとともに、スポーツに関心のない町民へのアプローチの仕方については今後も課題となっています。また、平日水曜日の開催となっているため、町民から「毎年参加したいと思っているが仕事があり参加できていない」や「休日に開催はできないのか」など意見が多くありました。



バドミントンサークル活動



グラウンド・ゴルフ大会の様子



ミニバレーサークル活動

早朝のラジオ体操で汗を流す参加者＝25日、奄美市名瀬



奄美市と和泊町が参戦

チャレンジデー2016

運動の住民参加率競争

人口が同規模の自治体が住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー2016」が25日、全国各地で行われた。奄美群島では奄美市（4万4725人）が秋田県能代市（4万4725人）と、和泊町（6894人）が同県井川町（5041人）と対戦した。梅雨入りしている奄美地方は曇りペースの空模様となったが、両市町の住民は、晴れ間を縫ってラジオ体操やグラウンド・ゴルフ、マスケーム講習会などで心地よい汗を流した。

チャレンジデーは15分以上継続して運動した住民を対象。奄美市では、午前6時30分から名瀬小学校校庭でラジオ体操があった。老若男女530人が集まり、ラジオ放送に合わせ元気いっばいに運動した。西親と二緒に参加した同市名瀬の井上悠大君（7）は「楽しかった。早起きをしてよかった」と笑顔。職場でラジオ体操を定期的に行っているという母親の純子さん（43）も「こんなに大勢で体操をするのは気持ちよ」と話した。同市の昨年の参加率は46・4％。市教委は今回の目標参加率を「50％以上に設定した。」



128人が参加したグラウンド・ゴルフ大会＝25日、和泊町和泊のヤーシチ公園

和泊町は13回目の参戦。シチ公園でグラウンド・ゴルフ大会があり、128人が競技を楽しんだ。町内各地でチャレンジデー企画が組まれ、同6時20分からは各学一斉のラジオ体操イベントがあり、計1257人が参加。職場の始業前にラジオ体操する姿も見られた。午前9時から和泊のヤーシチ公園には、今年も午前6時開始のゴルフ大会があり、128人が競技を楽しんだ。町内各地で夜にかけてボルダリング体験、ヨガ体験、マスケーム講習会などが続いた。町教育委員会によると、昨年の参加率は66・3％。今年の目標は「70％以上」に設定した。

2016年5月26日 木曜日 南海日日新聞

主催

伊江村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 島袋秀幸)

伊江村 B&G 海洋センター

〒 905-0502 沖縄県国頭郡伊江村東江前 2371

伊江村 B&G 海洋センター

TEL : 0980-49-2929 FAX : 0980-49-2955

結果

人口 : 4,704 人

参加者数 : 1,904 人

参加率 : 40.5%

取得メダル : 銀

沖縄県伊江村 ●

VS

北海道知内町 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①朝のラジオ体操(各区公民館(8カ所)) 788 人

- ・朝 6 時 30 分から 8 行政区の公民館に区民が徒歩で集まり、家族ぐるみでラジオ体操を実施することが、村民誰もが気軽に参加できる企画であり特に力を入れました。

②スポーツ開放(体協専門部による各球技で交流) (多目的屋内運動場、BG 体育館、伊江中体育館、西小体育館、伊江小グラウンド、ミースィ公園) 508 人

③老人クラブ ゲートボール大会(旅行村ゲートボール場) 215 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 事業所・企業 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会

広報・周知

- ・1 週間前に村民がよく聴くラジオでチャレンジデーを PR しました。
- ・村内各家庭へ防災無線放送で周知を図りました。
- ・チラシを各家庭に配布し、イベントの内容や目的の周知を図りました。

製作物

チラシ 2,500 枚 / ポスター 80 枚 / 大型横断幕 1 枚 / 横断幕(その他) 20 枚 / のぼり 240 本 / T シャツ 110 枚

実施効果

村民から継続して参加したいと好評を得ることができました。自治体対戦形式の結果に多く関心が寄せられ、来年も実施する機運が高まりました。運動の大切さを村民に啓発することができました。

担当者から

2 回目の実施という事でスムーズに地域や団体から理解と協力

を得ることが出来ました。

観光客を対象としたイベントを考えていきたいです。

参加者が昨年より 130 人余り増え村民から好評でした。



朝のラジオ体操



ちびっこ相撲



陸上

チャレンジデー
住民の4割参加
伊江、知内町に敗れる

【伊江】スポーツによる住民の健康づくりや地域活性化などを目的とした住民総参加型イベント「チャレンジデー2016」が、全国の自治体で5月25日に実施され、伊江村も参戦した。写真。



「チャレンジデー」は笹川スポーツ財団と自治体が連携を図り、地域スポーツ振興を目指すもので、住民が15分以上継続して運動に参加し、人口規模がほぼ同じ自治体同士が参加率を競い合う。

伊江村では午前6時半から各区公民館で実施された早朝ラジオ体操を皮切りに、日中は村立保育所に通う4歳児クラスのフロアリズム体操教室や高齢者転倒予防運動「どろげらん教室」などが、B&G海洋センター体育館で行われた。

夕方以降は世代間交流を目的とした村体育協会イベントが催され、村内各所で野球やバスケットボール、バドミントンなど多種のスポーツを楽しんだ。

伊江村の対戦相手は北海道の知内町。敗れたものの、昨年より約130人増の40・5%の参加率で、住民の健康づくりを推進した。

(中川廣江通信員)

2016年6月5日 日曜日 琉球新報

対戦先町長と
エールを交換

島袋伊江村長

【伊江】「チャレンジデー2016」が25日に開催されるのを前に、参加する伊江村の島袋秀幸村長は4月15日、対戦相手の北海道知内町の大野幸孝町長とエールを交換し合った。写真。



電話では互いの町や村を紹介し、島袋村長は

「2回目の参加だが、互いに楽しみながら頑張ろう」と健闘を誓った。ことし1月時点で、伊江村の人口は4704人で、知内町は4665人。伊江村は昨年初めて参加し、常連参加の北海道苫前町に敗れた。今回対戦する知内町は初出場。農業、漁業が盛んな町で、北島三郎さんの出

身地として知られている。

昨年の伊江村の住民参加率は37・5%で、ことしは40%を目標に、広報誌や防災無線で参加を呼び掛け、初勝利を目指す。(金城幸人通信員)

2016年5月23日 月曜日 琉球新報

主催

石垣市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 中山義隆)
観光文化スポーツ局スポーツ交流課
〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町14番地
TEL: 0980-88-6666 FAX: 0980-82-1911

結果

人口: 49,141人 沖縄県石垣市 ●
参加者数: 18,753人 VS
参加率: 38.2% 岩手県北上市 ○
取得メダル: 銀

プログラム (太字: 特に力をを入れているプログラムと内容)

- ①ファイナルイベント「きいやま商店と歌って踊ろう」(総合体育館メインアリーナ) 753人
 - ・石垣島出身アーティスト「きいやま商店」のライブを開催し、かれらの歌にあわせてリズムカルに楽しみながら踊ることを目的に、小さい子どもから大人まで多くの方に参加していただきました。
- ②チャレンジ迷路(屋内練習場) 455人
- ③チャレンジデー「ナイター陸上競技会」(陸上競技場) 279人
- ④オープニングイベント「ラジオ体操会」(陸上競技場) 130人
- ⑤ザ・チャレン児 2016(大川保育所) 90人

【アスリート・著名人など】

きいやま商店(アーティスト)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/全課/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/レクリエーション協会/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/観光交流協会/青年団協議会/保健所

メディア

八重山毎日新聞/石垣ケーブルテレビ/八重山日報社/FM いしがきサンサンラジオ

広報・周知

地元マスコミの心強い協力を得て、新聞・ケーブルテレビ・FM 地元ラジオを通して幅広く周知をおこないました。また、学校関係機関や市内各事業所へ直接訪問し協力依頼を呼び掛けました。さらには、台湾からのクルーズ船が当日本市を訪れるということから、チャレンジデー当日、ターミナルにて台湾からの観光客へ参加協力を呼び掛けたことで、市民のみではなく観光客も含めた参加がありました。

製作物

チラシ 2,500 枚/ポスター 250 枚/横断幕(その他) 4 枚/のぼ

り 80 本/懸垂幕 2 枚/Tシャツ 50 枚/残暦版 1 枚

実施効果

今年で3回目のチャレンジということもあり、少しずつではありますが市民の認知度は向上していると感じます。参加率は、昨年に比べ減少しましたが、参加者からは「運動のきっかけを作ってくれてありがとう」、「これからも続けてほしい」などの感想が寄せられ、チャレンジデーを実施するにあたっての目的であった「チャレンジデーを通して健康意識を高めるきっかけ作り」に手ごたえを感じました。また、友好都市「北上市」との2度目の対戦ということもあり、残念ながら負けてしまいましたが、より一層の友好の深い絆を感じました。

担当者から

今回は「金メダル獲得」を目標に、実行委員をはじめ各関係機関と連携し協力をいただきながら取り組みましたが、残念ながら銀メダルという結果でした。市民からも大変残念そうな感想をいただいていることから、チャレンジデーを通じた運動のきっかけ作りへ可能性を感じております。これまでの3度のチャレンジデーを振り返り、さらに充実できるよう検討してまいります。来年こそは金メダル!!



オープニングイベント「ラジオ体操会」



昔あそび